

科 情 第 322 号  
令和元年 12 月 5 日

後援機関 各位

岩手県政策地域部科学・情報政策室長



令和元年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業表彰式の開催について  
平素より、本県の海洋研究の発展に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
いわて海洋研究コンソーシアムでは、研究機関の相互連携のもと、三陸海域で研究を  
実施している若手海洋研究者に発表の機会を設けることにより、研究者の育成と更なる  
研究活動を奨励し、将来に向けた海洋研究拠点形成の礎を築くとともに、交流人口の増  
加を通じた地域振興を図ることを目的として「岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業」  
を実施しております。

このたび、標記について下記のとおり開催いたしますので、御多忙のところとは存じ  
ますが、御出席下さるようご案内申し上げます。

記

1 日時 令和元年 12 月 23 日(月) 15:30~16:50

2 場所

エスポワールいわて 3 階特別ホール (岩手県盛岡市中央通 1-1-38)

3 内容

(1) 岩手県三陸海域研究論文知事表彰 表彰式 15:30~15:50

- 選考経過報告 (北里大学海洋生命科学部 海洋生命科学部長 菅野 信弘)
- 表彰及びお祝いの言葉 (岩手県政策地域部科学・情報政策室 古館 慶之)

[岩手県知事賞]

(学生の部) 森谷 大樹 (岩手大学大学院総合科学研究科)

(一般の部) 佐藤 信彦 (東京大学大気海洋研究所)

(2) 受賞者から報告～研究論文の概要と今後の取組・抱負～ 15:50~16:50

発表 25 分、質疑 5 分

担当：科学技術担当 吉田

電話：019-629-5252

Email : ko-yoshida@pref.iwate.jp

令和元年度  
岩手県三陸海域研究論文知事表彰 表彰式  
開催要領

**1 趣旨**

いわて海洋研究コンソーシアムでは、研究機関の相互連携のもと、三陸海域で研究を実施している若手海洋研究者に発表の機会を設けることにより、研究者の育成と更なる研究活動を奨励し、将来に向けた海洋研究拠点形成の礎を築くとともに、交流人口の増加を通じた地域振興を図ることを目的として「岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業」を実施している。令和元年度の受賞者が決定したため、表彰式を行い、併せて受賞記念の講演を実施するもの。

**2 日時**

令和元年12月23日(月) 15:30~16:50

**3 場所**

エスポワールいわて 3階特別ホール（岩手県盛岡市中央通1-1-38）

**4 主催**

岩手県、いわて海洋研究コンソーシアム

**5 内容**

(1) 岩手県三陸海域研究論文知事表彰 表彰式 15:30~15:50

- ・選考経過報告（北里大学海洋生命科学部 海洋生命科学部長 菅野 信弘）
- ・表彰及びお祝いの言葉（岩手県政策地域部科学・情報政策室 古館 慶之）  
[岩手県知事賞]  
(学生の部) 森谷 大樹（岩手大学大学院総合科学研究科）  
(一般の部) 佐藤 信彦（東京大学大気海洋研究所）

(2) 受賞者から報告～研究論文の概要と今後の取組・抱負～ 15:50~16:50

発表25分、質疑5分

**6 参集者**

いわて海洋研究コンソーシアム会員等

## 令和元年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業受賞者の決定について

### 【要旨】

県では、本県三陸沿岸への研究人材の集積や海洋・水産研究の活性化を図るため、平成21年度から若手研究者を対象に、三陸をフィールドとした研究論文を募集・表彰する「岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業」を実施しています。

この度、令和元年度の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

### 1 受賞者及び受賞論文について

#### (1) 岩手県知事賞(2件)：岩手県三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容のもの

| 部門   | 氏名                | 所属                 | 論文タイトル                                  |
|------|-------------------|--------------------|---|
| 学生の部 | もりや ひろき<br>森谷 大樹  | 岩手大学大学院<br>総合科学研究科 | 海藻成分を資化してバイオプラスチックを合成できる大船渡湾より単離した新規微生物 |
| 一般の部 | さとう のぶひこ<br>佐藤 信彦 | 東京大学大気海洋研究所        | 大槌における鳥によるサケ稚魚食害について                    |

#### (2) 特別賞：学生・一般の部ともに該当者なし。

今後の研究継続により、更なる成果が見込まれる研究又は独創性が高い内容のもの

### 2 審査経過

#### (1) 応募状況

10名（学生の部4名、一般の部6名）

#### (2) 岩手県知事賞・特別賞の選考

専門家及び有識者による選考委員会（別添名簿）において、論文及び口頭発表の審査を行い、受賞者を決定した。

第一次選考会（書面審査）10月3日（木）

第二次選考会（口頭発表審査）11月7日（木）

### 【参考】論文の概要について

#### 1 岩手県知事賞（2件）

##### 【学生の部】

| 氏名    | 所属             | 論文タイトル                                  |
|-------|----------------|---|
| 森谷 大樹 | 岩手大学大学院総合科学研究科 | 海藻成分を資化してバイオプラスチックを合成できる大船渡湾より単離した新規微生物 |

##### 【論文要旨】

海藻を原料としたバイオプラスチックの微生物合成を目指し、海藻に多く含まれるアルギン酸を資化してポリ(3-ヒドロキシブタン酸) [P(3HB)]を蓄積できる微生物を大船渡湾より新規に見出した。見出した菌株の同定試験を行いCobetia属細菌であると明らかにした。さらに本菌株を培養する際、添加するアルギン酸濃度を上げると P(3HB) 生産量が著しく増加したことから、今後のさらなる培養条件検討がP(3HB) 生産量向上に寄与する可能性を示唆することができた。

##### 【一般の部】

| 氏名    | 所属          | 論文タイトル               |
|-------|-------------|----------------------|
| 佐藤 信彦 | 東京大学大気海洋研究所 | 大槌における鳥によるサケ稚魚食害について |

##### 【論文要旨】

近年、三陸沿岸において鳥によるサケ稚魚の食害が報告されている。特に、カモメの仲間がサケ稚魚を多く食べる悪者として注目されているが、その真偽は分かっていない。調査の結果、カモメ科のウミネコがサケ稚魚を狙って河川に集まっているが、その採餌成功率は低く、食害の程度は見かけよりも低いことが判明した。また、カモメ科を対象とした被害防除を施すと、かえつて他の鳥種による食害が助長されてしまう可能性が示唆された。